

※赤字は加算計画(基金充当15億円超)のみ記載する部分

地域医療再生計画の期間

平成23年4月1日から平成25年度末までの期間を対象として定めるものである。

基本計画:基金充当額15億円  
(総事業費約33億円)  
加算計画:基金充当額約36億円  
(総事業費約62億円)

現状分析

I 医師不足

- ・⑩人口10万対医師数174.4人  
ワースト5位前後で推移。
- ・本県出身全国医学生が増、県内  
研修医採用者の増。
- ・政策医療の中心的役割の自治体  
病院の医師不足が深刻。
- ・産科医が少ない中で、青森県周  
産期医療システム構築、運用。
- ・一方で、上十三圏域をはじめ、分  
娩可能産科施設の減少、産科医の  
高齢化。

II 短い平均寿命

- ・男性 ⑦76.27才  
昭和50年から連続最下位
- ・女性 ⑦84.8才  
平成12年から連続最下位
- ・三大死因の標準化死亡比男女と  
も高い。
- ・死因の3割を占めるがん75才未  
満年齢調整死亡率 男性、女性と  
も、連続して最下位グループ
- ・がん登録の精度向上が課題。
- ・脳卒中は速やかな受診必要。

III 厳しい自然・地理条件下での医療提供

- ・全国8位の広い県土に人口が拡  
散し、津軽下北の両半島を有する  
ため、高次医療機関アクセス困難
- ・東日本大震災で停電等の二次災  
害により災害拠点病院等の医療機  
能が大幅に制限。生命維持に直結  
する人工透析・産科医療機関の多  
くが機能停止。
- ・原発事故で、県民の原子力施設  
への不安増大。

課題

1. 本県出身の全国医学生、弘前大学医学部地域枠の  
医学生が県内で充実した臨床研修を受け、後期研修医  
等として定着することが必要。**臨床研修医の住環境整  
備が必要。**

2. 医師不足のなかで、限られた医療資源を有効活用  
するため、政策医療に係る医療機関の役割分担と連携  
強化が必要。

3. 産科医療施設の減少に対応するための地域周産期  
母子センター等の施設拡充、遠隔地からの患者の受入  
環境の整備が必要。

1. がん対策では、がん登録の精度向上、医療従事者  
の資質向上、患者団体の育成が必要。**都道府県がん  
診療連携拠点病院の機能強化とがん医療に携わる医  
療機関への支援が必要。**

2. 脳卒中对策では、県民への脳卒中に係る正しい知  
識の普及による早期発見、早期治療の促進が必要。**脳  
卒中对策に係る医療機関の機能強化が必要。**

1. 高度救命救急センターが3次救急医療機能を十分に  
果たせるよう、後方支援機能強化が必要。県民への救  
急医療体制に関する正しい知識の普及が必要。

2. 災害拠点病院等の災害時の機能強化が必要。**人口  
透析・産科医療機関の停電時の医療機能確保が必要。**

3. 県民への緊急被ばく医療体制、放射線の健康影響  
等に係る基本的な知識の普及が必要。

目標

1. 県内臨床研修、後期研修体制  
の充実による臨床研修・後期研修  
医の確保とスキルアップを図る。

2. 政策医療を担う病院の院長会議、  
圏域単位の医療の質向上を図る。**I  
Tを活用した医療情報の共有化を  
図る。**

3. 県南地域での産科医療施設の  
減少に対応する施設の整備、遠隔  
地からの患者受入施設の整備を行  
う。

1. がん対策強化のため、がん登録  
の推進、がん診療に携わる医療従  
事者の育成や患者団体への支援を  
行う。**都道府県がん診療連携拠点  
病院の機能強化と医療連携を行う。**

2. 脳卒中对策強化のため、県民へ  
の正しい知識の普及を図る。**速や  
かに適切な専門的治療が受けられ  
る体制の整備を図る。**

1. 高度救命救急センターの後方支  
援ベッドを整備する。県民に対し、  
救急医療に関する正しい知識の普  
及を図る。

2. 災害拠点病院等の災害時の機  
能強化を図る。**人工透析・産科医療  
機関の停電時の機能確保を図る。**

3. 県民への緊急被ばく医療体制、  
放射線の健康影響等の基本的な知  
識の普及を図る。

具体的な  
施策

①臨床研修プログラム充実強化事業 39百万円(全額  
基金)  
②研修医宿舎等整備事業 6.9億円(基金2.2億円)

①政策医療連携病院院長会議 3百万円(全額基金)  
②地域医療力向上・支援事業18百万円(全額基金)  
③メンタルケア育成支援事業18百万円(全額基金)  
④地域医療情報共有システム構築10.3億円(全額基金)

①八戸市立市民病院周産期センター拡充 12億円(基金  
5億円もしくは6億円)  
②周産期待機宿泊施設整備・試行的運用58百万円(基  
金17百万円)

①がん登録促進事業11百万円(8百万円)  
②がん医療従事者育成促進事業10百万円(全額基金)  
③がん患者団体等活動支援事業24百万円(全額基金)  
④都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業7.8  
億円(基金3.9億円)

①脳卒中对策キャンペーン30百万円(全額基金)  
②脳卒中对策フォーラム等4百万円(全額基金)  
③脳卒中医療機能強化設備整備事業2.1億円(基金1.1  
億円)

①弘前大学医学部附属病院ICU増床12.8億円(基金5  
億円もしくは6.4億円)  
②救急医療対策キャンペーン30百万円(全額基金)  
③救急医療を地域で考える会議3百万円(全額基金)  
④救急医療を地域で考えるフォーラム等3百万円(全額  
基金)

①災害拠点病院等施設・設備整備事業5.6億円(基金  
2.7億円)  
②災害拠点病院等体制整備事業18百万円(全額基金)  
③人工透析・産科医療機関機能確保事業1.5億円(基金  
0.6億円)  
④被ばく医療普及啓発事業21百万円(全額基金)